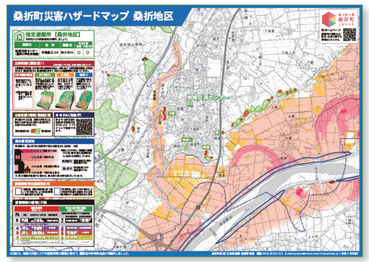
水害に備えよう

避難のポイントを確認し命を守る行動を

近年、台風や集中豪雨による水害が頻発しています。いざというときに備え、事前に自宅周辺の災害リスクや避難のポイントを確認し、避難行動の計画を立てておくことが重要です。

ハザードマップを確認

まずは、自宅や職場などがある地区のハザードマップを確認し、災害リスクや避難所の場所を把握しましょう。



町のハザードマップは、4地区ごとに分かれています。町ホームページ（上記二次元コード）からも確認できます。

ハザードマップで確認できること

ハザードマップ▶

- **指定避難所の場所**
- **土砂災害（特別）警戒区域**
  ▶土砂災害の危険性があるエリアを、がけ崩れ、土石流、地滑りの種類ごとに色分けして表示
- **浸水想定区域**
  ▶阿武隈川や町内を流れる河川の決壊などで浸水が想定される区域・水深を色分けして表示
- **家屋倒壊等氾濫想定区域**
  ▶堤防決壊などに伴う家屋倒壊の危険性があるエリアや激しい川の流れにより地盤が削られるなどの危険性があるエリアを色分けして表示

防災グッズの準備

非常持ち出し品…リュックサックなどに入れておく
非常用備蓄品…できれば1週間分、少なくとも3日分を用意

避難時に持ち出すためにリュックサックなどに入れておく「非常持ち出し品」と自宅での避難生活に必要な「非常用備蓄品」を紹介します。下記を参考に、家族構成にあった防災グッズを準備しておきましょう。

非常持ち出し品

食料	□非常食、水
感染症対策	□マスク □アルコール消毒液 □体温計 □ウェットティッシュ
防災用品	□携帯ラジオ □懐中電灯 □ホイッスル □ヘッドライト □乾電池 □電池交換式バッテリー
衣類など	□レインコート □下着 □毛布、ブランケット
日用品	□メガネ・コンタクトレンズ □タオル □歯ブラシ・液体歯磨き □生理用品 □携帯トイレ □ポリ袋・レジ袋
医療品	□常備薬 □救急セット
貴重品	□通帳、印鑑 □クレジットカード

非常用備蓄品

食料	□非常食、水（水は1人あたり1日3ℓ×3日＝9ℓ） □カセットコンロ・ボンベ □ラップ・紙皿・割りばし	
日用品	□ウェットティッシュ □体拭きウェットティッシュ □トイレットペーパー □ライター □携帯トイレ □新聞紙、タオル □乾電池 □電池交換式バッテリー	女性用品 □生理用ナプキン（普通・長時間向けなど） □おりものシート □サニタリーショーツ □防犯ブザー・ホイッスル □中身が見えないごみ袋 □女性用下着
介護用品	□大人用紙おむつ おむつ用ビニール袋 □尿取りパッド □おしりふき □介護食（おかゆ・とろみ食・とろみ剤） □簡易トイレ □防犯ブザー □義歯洗浄剤	乳幼児用品 □粉ミルク・液体ミルク □枕・クッション・授乳用ケープ・バスタオル □乳幼児飲料水（軟水） □哺乳瓶・人口乳首・コップ・消毒剤・洗剤・洗浄ブラシ・割りばし □湯沸かし器具（食用と別にする） □離乳食 □乳幼児用紙おむつ おむつ用ビニール袋 □おしりふき

情報の確認・収集

いざというときに、適切でタイムリーな情報が確認できるように、事前にサービスの登録やお気に入り登録などをしておきましょう。

町からの情報

町公式LINE

★事前に 友達登録 をし
必ず 受信設定 を！

自主避難所の開設など、町からの詳細な情報がスマートフォンに届きます。

町公式X

町ホームページ

町からの最新情報を確認

土砂災害・洪水情報

キキクル（気象庁）

洪水や土砂災害の危険度をリアルタイムで確認

福島県土砂災害情報システム

土砂災害の危険度情報を確認

福島県河川流域総合情報システム

河川の水位や現地カメラ映像を確認

水害が予測されたら・水害が発生したら

天気予報などで、大雨などが予測され、水害発生のおそれがある場合は、テレビやラジオなど各種媒体からの情報に注意し、災害が発生する前に行動できるよう、避難準備を始めましょう。万が一、災害が発生した場合は、命を守る行動を最優先に、できる限りの安全確保に努めてください。

警戒レベル4「避難指示」が発令された場合は、速やかに必ず避難してください。

警戒レベル 4 避難指示

水平避難（立退き避難）

▶▶▶ 災害発生前に行動を！

安全なうちに、親戚・知人宅・ホテル・避難所などへ身を寄せる。

垂直避難

▶▶▶ 逃げ遅れや水平避難が危険と思われる場合

自宅や近所の頑丈な建物の高層階へ移動する。

屋内安全確保

▶▶▶ 屋外に避難することがかえって危険な場合

①家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない建物
②居室が浸水深より高い
③水や食料の備えが十分にある

上記3つの条件をクリアしている場合は、屋内に留まり安全を確保する。

避難所に設置する備品などの一部を紹介します

町では、避難所を開設した際に、現地で使用する備品を揃えています。プライバシーを確保するためのテントや少しでも寝心地を改善するためのベッドなど、避難者の負担軽減のために、備品の充実を図っています。

非常食

簡易ベッド

簡易テント